

「裁判員制度」に関する本を紹介します

来年5月からいよいよ裁判員制度が実施されます。テレビや新聞などでも模擬裁判の体験の様子が多く報道されるようになっていきます。「裁判員のことを知らないけど、まだまだ先のことだから」「自分は指名されたくない」「うまくいけば当たらないで済む」という声を聞きますが、早いうちに考えておくなくてはならないことが多いように思います。図書館は、いろいろな本を用意しています。この裁判員制度について、じっくり考えてみませんか。



書籍

・「裁判員制度」丸田隆著（平凡社）2004、7発行

この制度への疑問に答え、変わる刑事裁判を知る必読の書です。

・「殺人犯を裁けますか？」田中克人著（駒草出版）2007、4発行

法律の素人でも、一気に読めるように読みやすく書かれています。

・「裁判員制度はいらない」高山俊吉著（講談社）2006、9発行

今、どうして裁判員法なのかを考え、その危険性を指摘しています。

・「日本の論点2008またルールが変わった」2008、1発行

DVD（本館で視聴できます）

・「ぼくらの裁判員物語」（最高裁判所）

・「裁判員 選ばれ、そして見えてきたもの」（最高裁判所）

その他、裁判そのものについて考える意味で、「少年裁判官ノオト」（井垣康弘著 日本評論社）「人が人を裁くということ」（佐木隆三 青春出版社）「それでもボクはやってない」（周防正行著 幻冬社）などもあります。

蔵書点検のため休館します

名和分館 2月4日（月）・5日（火）

本館 2月25日（月）～28日（木）

大山分館 3月3日（月）・4日（火）

上記の日程で、蔵書点検を行います。点検中は作業のため、休館します。該当館以外は、開館していますので、そちらをご利用ください。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。なお、貸出期限の過ぎた本はないか、今一度確認をしていただきますように。

行事のお知らせ

名和分館

●とつげきお話隊の
「しんねんお話会だチュー」

1月12日（土）10:00～10:40

本館

●「百人一首大会」

1月12日（土）14:00～14:40

新着図書 のご案内

一般・文学

- ★角兵衛獅子 / 大佛次郎
- ★楊令伝3 / 北方謙三
- ★月明かり / 北原亞以子
- ★書庫の母 / 辻井喬
- ★荒地の恋 / ねじめ正一
- ★さよなら、そしてこんにちは / 荻原浩
- ★中原の虹4 / 浅田次郎

エッセイ

- ★だから生きる / 松井天遊
- ★平和とは非凡な幸運 / 曾野綾子

郷土

- ★山陰文学第49号 / 山陰文学会
- ★妖怪の町境港公式ガイドブック

その他

- ★男の老子 / 竜門冬二
- ★問答無用 / 佐高信
- ★インド式速解術 / プラディーブ・クマー
- ★手のかかる子の育て方 / 山田真
- ★感じて描く漢字アート / 関紫芳
- ★山頭火放浪 / 鈴木まつ子
- ★裁かれた罪裁かれなかった「心」 / 佐藤幹夫

児童・絵本

- ★千年の時をこえて / 沢村凜
- ★はっぱ / 林将之
- ★はこはこ / アントワネット・ポーティス
- ★としゃかんライオン / ミシェル・ヌードセン
- ★天女の里がえり / 君島久子